

現状と課題・背景

放置自転車対策に取り組み、快適で、利用しやすい駅前にします。

・区内3駅（西九条、千鳥橋、安治川口）で設置した協議会の活動により、自転車利用の適正化を推進。

23年度目標 活動参加人員 400人にする
放置自転車台数 950台に減らす

- ・迷惑駐輪が増加しており、特に西九条・千鳥橋・安治川口の駅周辺が顕著（約1,500台）。
- ・駐輪対策を継続していくためには、行政のみならず、住民参加による協働の取り組みが必要である（2駅で自転車利用適正化協議会を設置・1駅で設置予定）。

・駅前の駐輪状況（20年11月平日調査・台数）

	放置数	駐輪場利用	駐輪施設
西九条駅	986台	1,076台	1,425台
千鳥橋駅	241台	59台	478台
安治川口駅	291台	878台	578台



▲駅前の放置自転車

地域の子育て力を向上させ、安心して子どもを育てられる環境づくりを進めます。

・子育てサロンを10か所以上に、参加者1,500組にする（23年度）。

・区内の子育て情報を「情報コーナー」に集約し、保育所や幼稚園に通っていない乳幼児が子育て支援事業に参加できるようにする。

- ・子育てサロンが順次開設されてきた。
高見、恩貴島、西九条、西島、春日出（それぞれ月1回10～20組が参加）
- ・各保育所と子育て関係機関のネットワークによる「このはネット」主催のイベントに110組の親子が参加。
- ・子育て活動を担うボランティアが高齢化するとともに、人材が不足。



健康づくりに取り組み、元気でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

・5年後に、大阪市の平均寿命を上回るようにする。
・特定健診の受診率を23年度に50%以上にする。

- ・生活習慣病やメタボリックシンドロームに関心が高まるなか、健康づくりが課題であるが、20年4月から始まった特定健診の受診率は10.4%と低調。

- ・此花区民の平均寿命は、大阪市の平均を下回り、全国の市区町村の中でも下位。

・此花区民の平均寿命
大阪市24区：男19位、女22位。
全国1,965市区町村：男1,891位、女1,948位。
（政令指定都市の行政区を含む）。

具体的な取り組みと目標

■ 放置自転車対策に取り組みます

【重】◇西九条、千鳥橋駅において休日ごとの自転車整理、指導、啓発を実施します。
（放置自転車台数（2駅） 1,227台を980台に減らす）。

【重】【3駅の協議会の定期的な開催と検討に基づく取り組みを実施】

- ・協議会の検討に基づいた関係機関・地域などと協働によるキャンペーン等を実施します。
- ・駐輪場の増設、有料化、放置禁止区域の指定などを検討し、関係先へ要望します。
（活動参加人員 60人、放置自転車台数（3駅）1,518台を1,210台に減らす）。



※マナーの悪い放置自転車

※マナーUP後の自転車

■ 地域の子育て力を向上させます

【重】【子育て支援事業「子育て親子よっといでプラン」を推進】

- ①区役所内「キッズルーム」を子育て支援の拠点として整備します。
 - ・子育て世代の交流場所として子育てグループへの貸し出しを行います。
 - ・子育て親子のための催しを開催します。
- ②キッズルーム周辺に子育てサロン、サークルや関連機関等の情報を一元的に提供し、発信する場として「情報コーナー」を整備します。
- ③子育てボランティア養成講座を開催します。
 - ・ボランティアビューローと共催し、子育てボランティアを養成します。
- ④子育て支援イベントを開催します。
 - ・子育てフェスタ、おもちゃライブラリー、親子コンサートを開催します。



▲子育てサロン

■ 健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます

【重】【健康促進事業「このはな いきいき 長生きプラン」を推進】

- ・区民との協働による健康づくりを進めます。
「健康・予防医療」をテーマに、施策や事業のPR、健康ハンドブックの作成、ウォーキングや正しい歩き方教室、料理教室、健康講座・フェスティバルなど、区民との協働による健康づくり事業を実施します。



▲此花区は平均寿命が短い